

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	中山 孝男	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

下記テキストの輪読を通して、バブル崩壊からごく最近までの日本経済の動向を少し詳しく理解することが、この演習(ゼミ)の主たる目的である。それと同時に経済学全般の知識も身につけてほしい。その他、毎週のニュース当番によるニュースの紹介により今まさに日本や世界で起っている出来事を知ることが第2の目的となる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストを輪読していく。毎回、テキストの要約・解説のレポーター、ニュース当番の担当者を決めて、担当者中心に進めていく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ゼミの進め方などの説明	ゼミの進め方を説明した上で、テキスト要約当番の役割、ニュース紹介当番の役割などを理解し、当番を決める。	<input type="checkbox"/>
第2回	テキスト pp.3-11	テキスト第1章第1節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第3回	テキスト pp.12-20	テキスト第1章第2節および第3節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第4回	テキスト pp.20-25	テキスト第1章第4節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第5回	テキスト pp.29-39	テキスト第2章第1節および第2節前半を精読する。	<input type="checkbox"/>
第6回	テキスト pp.39-50	テキスト第2章第2節後半および第3節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第7回	テキスト pp.51-61	テキスト第3章第1節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第8回	テキスト pp.62-77	テキスト第3章第2節及び第3節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第9回	テキスト pp.79-87	テキスト第4章第1節及び第2節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第10回	テキスト pp.87-101	テキスト第4章第3節から第5節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第11回	学外授業(予定)	学外授業として工場見学などを行う。(訪問場所は現時点では未定)	<input type="checkbox"/>
第12回	テキスト pp.103-111	テキスト第5章第1節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第13回	テキスト pp.112-126	テキスト第5章第2節を精読する。	<input type="checkbox"/>
第14回	テキスト pp.127-134	テキスト第5章第3節前半を精読する。	<input type="checkbox"/>
第15回	テキスト pp.134-150	テキスト第5章第3節後半および第3節を精読する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習: 次回に割り当てられたテキストの範囲を精読する。(70分) / 事後学習: ゼミで扱った範囲を、皆で討論したことを思い出しながら復習する。(70分) / 上の2つに加えて、新聞(経済面)を読んだり、テレビのニュースを見る。(毎日15分以上)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

当番以外にも毎回のテキストの範囲内で質問する。答えられるかどうかで、きちんと予習・復習をしているかどうかを判定する。もちろん、理解が難しい箇所の質問には必ず応じる。このような形でフィードバックをしていく。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会に関連する幅広い知識を修得し、専門知識修得の基礎を構築できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	経済社会に関する幅広い知識をもとに現在の社会がどのような状況にあるのかを自分なりに判断できる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	社会の現状を自分なりに判断し、それについて他者との意見交換をとおして主体性を確実に持ち、さまざまな問題解決に向かうことができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			100%	

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	山家悠紀夫 『日本経済30年史ーバブルからアベノミクスまで』 岩波新書、2019年	978-4-00-431799-9
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		